

埼玉県男女共同参画苦情処理委員からの勧告（令和5年8月30日付）

に関する県教育委員会による第1回意見聴取会（ヒアリング）の報告

令和6年1月30日（火）15:00～17:00 麗風会議室にて、埼玉県男女共同参画苦情処理委員からの勧告に関して、県教育委員会による意見聴取会が開催されました。意見聴取会に先立って、吉田PTA会長より保護者アンケートに基づく意見の説明資料が依田英樹高校改革統括監に手渡され、また、同様に後援会、定時制PTA、麗風会からも意見書ないしは意見集が手渡されました。本意見聴取会にはマスコミ5社（テレビ局1社含む）が取材目的のため同席していました。

2時間に渡り意見の説明および質疑・意見交換を行いました。特に全日制PTA（保護者）としては説明や質疑応答の時間が足りないことから、第2回の意見聴取会を県教育委員会に申し入れた結果、3月2日（土）9:30～11:30(予定)に実施されることが決まっています。

第1回 意見聴取会次第

- 1 開会
- 2 会場校あいさつ（佐藤校長）
- 3 出席者紹介
 - (1) 県教育委員会（教育局県立学校部、計5名）
 - (2) 学校関係者（①全日制PTA会長・副会長・広報役員、②後援会会長・顧問、③定時制PTA役員、④麗風会会長・副会長、計13名）
- 4 意見聴取（主として上記4団体の学校関係者から説明）
- 5 質疑・意見交換等
- 6 閉会
（なお、学校側からは佐藤校長先生、中野教頭先生らが参加）

意見聴取においては、まず全日制PTA（保護者）を代表して吉田会長から、当日のプレゼン資料に基づき、昨年12月から1月にかけて実施した共学化問題に関する保護者アンケートの趣旨、対象、回答数（593件）と回答率（55.8%）、コメント数（1,707個）、質問項目と結果の概要について説明が行われました。（なおアンケート回答の全データおよび詳細結果報告は事前に県教育委員会に提出済みです。）

その後、勧告の内容（男女共同参画のためには共学化すべきという内容、及び、早期に共学化を実現すべきという内容）に対する意見を中心に保護者側の意見としての説明があり、さらに参加した保護者からも意見や要望が追加で述べられ、教育局との質疑応答が行われました。

一連の吉田会長からの説明においては、勧告の内容に賛成する意見（時代遅れ、社会に出る前に男女別校は違和感・不自然など）及び中立的な意見等がしっかりと説明された上で、大多数の



アンケート結果

共学化が早期に実現されるべきとする勧告内容に賛成か、反対か？（質問6）

反対 概ね反対	90.6%
どちらでもない わからない	7.1%
概ね賛成 賛成	2.3%

以下のような反対意見（多かった意見、特徴的な意見等）が説明されました。（以下は主なもの）

- 勧告制度自体の設計・運用及び勧告内容が合理的でないこと、
- 子どもや社会の意見を把握していない、実態や別学のメリットを理解していないこと、
- 選択の自由や多様性といった埼玉県の良いさを損なうこと、
- 別学校は男女共同参画の阻害要因になっていない、むしろ貢献していること、
- 共学化しなくとも勧告の趣旨である男女共同参画の実現にむけた活動は進められること、
- 男子が苦手な女子もいるためそのようなマイノリティの尊重も必要であること、
- 公立の別学校を志望するものは私立の別学校に行くしかなくなり経済的な問題も生じることへの配慮がないこと、など、他多数。

一方、後援会の松永会長からも、選択肢の確保、児童・生徒の現状把握、及び児童・生徒の利益の優先などの観点から、公立の別学校の存続を訴える説明が行われました。また、定時制PTAからも、定時制の女子校があることで、安心して学校に通える、居場所がある、救われている生徒がいる、ということをお忘れなさいとほしいといった意見の説明がありました。

さらに、麗風会からは、以下のような観点から、反対意見を中心とした説明がありました。

1) 勧告書に対する疑問・批判

① 勧告書の内容に関するもの

② 勧告発出の制度に関するもの

2) 女子校（別学校）のメリット

3) 一女の良さ、女子校（別学校）の「シェルター機能」

4) 別学は否定されるものではなく、共学・別学を選択できるのがよい

5) 埼玉県には共学・別学の特色ある高校という多様な選択肢があり、それが魅力

（詳細は麗風会のホームページ【第1回ヒアリング報告】[リンク](#)をご参照ください。）

今回の第1回意見聴取会は、関係する方々の意見も丁寧に伺いながら対応していきたいとの教育局の方針のもと、お互いに丁寧な対応による対話型の会となりました。比較的少数の参加者による意見聴取会だったこともあり活発な質疑応答もできました。県教育委員会からは透明性のあるプロセスにしたい、3月以降に中高生にもアンケートを実施し意見を聞く予定である、といった説明がありました。また、このような関係者の熱い思いがあることを改めて理解させていただいたので持ち帰って検討したいという旨のコメントもいただきました。

保護者の皆様、アンケートへのご協力ありがとうございました。

なお、3月2日（土）の第2回意見聴取会では、全日制PTA（保護者）としては第1回の続きとして、別学校の意義・特徴・必要性、及び県教育委員会に対する要望・提言などを中心とした保護者の意見を説明し質疑応答を行う予定となっています。

（文責 本部）